

環境センター

1994年設立

役割

環境教育 + 広域的 + 助言

展示会、案内、ワークショップ、講演会を行う
自主的に活動

国内に1000ヶ所程度の活動施設がある

水、エネルギー、庭づくりについての質問が多い
どこの施設に行けば応えられるか指導、助言する。

庭の植物は有機栽培でエコロジーになっている。

施設の壁は防音、3重ガラスになっている

エントツの手前で熱交換して利用している

壁の断熱材は古新聞から抽出したセルローズ

排水は浄化池の植物で浄化される

1970年代

都市をドームの中に入れる

ユートピア的に思われていた

技術で全てが解決すると思われていた時代

ユートピアは怖いものと思うようになって来た

不安が募る

エコロジー案（代替案）が示される

きれいなものを取り入れ汚いものを排出する

循環型

1980年

アメリカ 生活そのものが環境に共生する思想

公共に依存するのではなく個々が自立すること

太陽、風、水、植物、動物、コンポストその他の役割

各々の町の役割はどうあるべきか

都市の中ではどうすればエコロジーができるか

自然とのハーモニー

庭が果たす役割は大きい

壁面緑化、屋根の緑化 断熱効果が大きい

植物を建物の一部として考える

技術の発展で失われてたものを見直す

庭の池 気温を安定させる、魚が住める、反射光で室内を明るくする
効果がある

8000万人 / 地球上 人口が増えている

98%が発展途上国である

80%が都市に集中している

今は余った土地に樹木を植えている

自然との共生として考える

都市の中の土地をどのようにして活かしていくかドイツでは行われている

何に心地良さを感じるか 自然 98%

どうしたら実現できるかが大事

